

教 育 学 概 論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

- 1 次の(1)～(3)の中から**2つ選択し**、それについて150字～200字で述べなさい。
選択した番号は解答用紙に記入すること。(各20点)
(3つ解答した場合は無効とする。)
- (1) 教育と体験の関係。
- (2) 我が国では、公立学校の授業料の無償化、私立学校の授業料の減免を来年度から実施することが検討されている。義務教育機関ではない高等学校の授業料を公費負担することの是非。
- (3) あるべき学力。
- 2 下記の(1)～(10)の文章を読み、正しいものには○、正しくないものには×を記入しなさい。(各2点)
- (1) 生徒指導は小学校の児童も対象になる。
- (2) 日本の初等・中等教育段階の学校で使われる教科書はすべて検定教科書である。
- (3) 進歩主義教育とは、革新的な思想を子どもに注入する教育のことである。
- (4) 校長及び教員は、児童生徒に懲戒を加えることができるが、体罰は禁止されている。
- (5) 転移とは、行動に問題がある子どもの影響が他の子どもに及ぶことである。
- (6) PISAとは、ユネスコが行っている15歳児を対象とした国際学力調査のことである。
- (7) カントは、その教育学講義を通じて四段階教授法を提唱し、現在の学校教育における授業計画や授業案作成に大きな影響を与えた。
- (8) 1960年代にオーストラリアでは、低所得家庭の幼児を対象に、ヘッドスタートと呼ばれ様々な就学支援のプログラムを開始し現在にいたっている。
- (9) 2009(平成21)年に改訂された学習指導要領では、保健体育で武道とダンスが必修になった。
- (10) 教育公務員特例法の一部改正により、教諭等としての在職期間が10年に達した者に対する研修が制度化された。

3 の中か適切な語句を選んで（ ）に記号を入れ、下記の文章を完成させない。（各2点）

教育機会の平等は、古くはヨーロッパの宗教改革期に聖書のドイツ語訳をした（ 1 ）や、『大教授学』を著した（ 2 ）などが提唱した学校教育の構想に示され、19世紀の国民国家形成期に義務教育制度として各国で実現していく。日本では、1872（明治5）年の（ 3 ）に義務就学が定められ修業年限は4年、6年、8年と延長されて、第二次世界大戦後に9年間となった。また、公立小学校の（ 4 ）が実現したのは1900（明治33）年のことであった。現行の憲法や教育基本法では、保護者に対し子に教育を受けさせる義務を課して、（ 5 ）では就学義務を規定している。1984（昭和59）年に発足した（ 6 ）は、「教育の個性化」を打ち出して、その後の教育制度改革の道筋をつけた。その一つに（ 7 ）がある。すなわち、児童生徒の（ 8 ）への対応として、在籍校以外の教育・福祉・医療機関での指導や、自宅での（ 9 ）等を活用した学習の日数を学校の出席に振替える措置を認め、義務教育の修了が見込めない者には（ 10 ）を受験させ高等学校への入学資格を与えるなどの施策である。

a. ルター b. メランヒトン c. コメニウス d. グロチウス e. 「教育令」 f. 「学制」 g. 授業料の不徴収 h. 教科書の給付 i. 「義務教育法」 j. 「学校教育法」 k. 中央教育審議会 l. 臨時教育審議会 m. 「就学義務の解除」 n. 「就学義務の柔軟化」 o. いじめ p. 不登校 q. OHC r. IT s. 中等教育修了試験 t. 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験

4 次の（1）～（10）の用語の中から4つ選択し、簡潔に説明しなさい。選択した番号は解答用紙に記入すること。（各5点）

（5つ以上を解答した場合は無効とする。）

- （1）1条学校 （2）中等教育学校 （3）指導要録 （4）ピグマリオン効果
（5）アカウントビリティ （6）ポートフォリオ評価 （7）実物教授
（8）ゴーレム効果 （9）NIE （10）電子黒板